

毎月1回、季節の花&OZmagazine&カードのセットが月額3,850円（※税込、送料込）で届く

サブスクリプションサービス「ハナノヒ365days」に、「OZmagazine」とコラボした新コースが登場

「OZmagazineと旅するお花たち 花のまど」4/1（木）より受付開始

スタート出版株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：菊地修一）が発行する「OZmagazine（オズマガジン）」は、株式会社日比谷花壇（本社：東京都港区、代表取締役社長：宮嶋浩彰）とのコラボ企画として、毎月1回、季節の花、「OZmagazine」、カードをセットでお届けするサブスクリプションサービス「OZmagazineと旅するお花たち 花のまど」（月額3,850円 ※税込、送料込）の申込み受付を4/1（木）より開始いたします。 ■詳しくはこちらから「ハナノヒ365days」サイト <https://www.hana.com/>



■「OZmagazineと旅するお花たち 花のまど」とは

花と緑を通じてお客様の365日をもっと彩り、心ゆたかに過ごしていただきたいという思いを込めた、日比谷花壇のサブスクリプションサービス「ハナノヒ365days」に、「OZmagazine」とコラボした新コースが登場。毎月1回、月刊誌『OZmagazine（オズマガジン）』の発行日12日前後に、季節の花、「OZmagazine」、カードをセットでお届けします。毎月、花が育てられている産地にフォーカスし、そこで育まれる花、生産者の方の思い、その土地の空気を、「OZmagazine」の新連載「お花と風の宅配便」（4月12日発売の5月号より連載開始）の誌面を通じて紹介。その産地の花と、花が育てられている場所の風景写真をカードにして一緒にお届けすることで、花とカードを部屋に飾って、その土地の風景を楽しんでいただくことができます。初回、5月のお届けは、信州 片桐花卉園のこだわりのアルストロメリアを中心とした花、「OZmagazine」6月号、カードをセットでお届けします。これに先立ち「OZmagazine」5月号の連載「お花と風の宅配便」では、アルストロメリアの新たな魅力を、南アルプスをのぞむ長野の空気感とともにご紹介いたします。

■「OZmagazineと旅するお花たち 花のまど」 <https://www.hana.com>

- ・申込受付開始日：2021年4月1日（木）
- ・お届け予定：月末締め、毎月12日前後のお届け
- ・支払い方法：クレジットカード（Visa、MasterCard、Amex）での1回払い
- ・月額：3,850円 [税込・送料込] 月1回のお届け
- ・セット内容：季節の切り花、「OZmagazine」（通常サイズ版）、カード

■お届けする主な切り花の内容

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------|
| 5月 「信州 片桐花卉園」のこだわりアルストロメリア | 11月 長野「堀木園芸」のこだわりのバラ |
| 6月 神奈川・平塚「マツキバラ園芸」の華やかなガーベラ | 12月 植物の力を感じるアフリカのネイティブフラワー |
| 7月 旭川「はせがわファーム」のシックなルリタマアザミ | 1月 「船穂」晴れの国岡山」の染めスイートピー |
| 8月 「須藤商会」の夏を感じるモカ | 2月 千葉・南房総「青木園芸」の可愛らしいナンキュラス |
| 9月 佐賀「明日香園」の地上の珊瑚のようなケイトウ | 3月 静岡「やぎバラ育種農園」のオリジナルバラ |
| 10月 東京・清瀬「横山園芸」の花弁のきらめきダイヤモンドリリー | 4月 和歌山「宮本園芸」のニュアンスカラーのスターチス |

※花の内容は変わる場合があります。上記のメインの花以外に、他の種類の花、グリーンが入る場合があります。

■「OZmagazine（オズマガジン）」 <https://www.ozmall.co.jp/ozmagazine/>

1987年創刊の女性誌。毎月12日発行。「よりみちによって、小さな幸せを発見する」をテーマに、旅、町、カルチャーなど、おでかけのための情報と、そこで出会えるストーリーを提供しています。

■株式会社日比谷花壇 <https://www.hibiya.co.jp/>

1872年創業、1950年に東京・日比谷公園店の出店後、株式会社日比谷花壇を設立。現在、全国に約190店舗を展開。ウエディング装花、直営店舗及びオンラインショップでの個人/法人向けフラワーギフトの企画・制作・販売、お葬式サービス、各種空間装飾デザイン・ディスプレイ、屋内緑化の設計・施工等を行っています。今後も、さまざまな日常生活のシーンの中に、花とみどりのある生活文化を創造していきます。